

G-NET じーねっと **しが**

滋賀県男女共同参画情報誌 VOL.8 2006 春号

なりたい私へステップアップ。



特集

始めませんか
あなたのチャレンジ

- ・それぞれのチャレンジのかたち
- ・チャレンジを考えている人へのアドバイス
- ・あなたのチャレンジを応援します

G-NET Interview
遠藤 京子さん
(登山家・NPO法人ヒマヤン・グリーン・クラブ元理事長)

- G-NET 掲示板
- ・図書・資料室から
- ・男女共同参画相談室から
- ・講座・イベント情報

G-NETしが

滋賀県男女共同参画情報誌
VOL.8 2006春号

発行日/平成18年2月16日
編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター
企画・編集/(株)高速オフセット



〒523-0891
滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4
TEL.0748-37-3751
FAX.0748-37-5770
E-mail.
g-net@mx.biwa.ne.jp
ホームページ
http://www.pref.shiga.jp/c/g-net/

【開所時間】午前9時～午後9時
【休館日】月曜日・祝休日の翌日・
年末年始



JR近江八幡駅下車南口より500m(徒歩10分)
または近江八幡駅南口から近江バス
『男女共同参画センター』下車

「G-NETしが」とは…

滋賀県立男女共同参画センターの愛称で、「Gender・Networkしが」の略。ジェンダー問題を見据えて男女共同参画のネットワークを広げていこうという思いをこめたものです。

特別テレビ番組

なりたい私になる!

～チャレンジする滋賀の女性たち～

BBCびわ湖放送

3月4日(土) 22:30～23:00 (30分番組)

(再放送) 3月5日(日) 18:00～18:30

県内のチャレンジの実例や、県のチャレンジ支援策を紹介します。

登場する人たち

大規模農家の
経営者

マキノの自然が生んだ
米粉パンの製造販売

ホテルの支配人をめざす
女性管理職



田中小有里さん
(湖北町)



みなさん
(高島市)



岡田啓子さん
(近江八幡市)

※他に、救急救命士 松井由香利さん(甲賀市)、板金職人 増子英理さん(東近江市)

講座・イベント情報

県立男女共同参画センター「G-NETしが」の催し



講師
三田誠広さん
(作家)

日時
平成18年6月17日(土) 13時30分～

公開講演会
「団塊世代のこれから
～僕らの未来展望～」(仮題)
団塊世代の問題は、団塊の世代だけの問題ではありません。
2007年からの団塊世代の大量定年を目前に控え、年金問題や熟年離婚、地域社会へのソフトランディングなど、団塊世代の今後に関心が高まっています。そこで今回は、『僕って何?』で芥川賞を受賞され、現在『団塊老人』が話題になっている作家の三田誠広さんを講師にお迎えします。
団塊世代の員として、明るい老後を迎えるための気概や手立て、そしてこれからの未来について、同世代に向けた心からのメッセージをいただきます。

G-NETしがホームページをご存じですか?

<http://www.pref.shiga.jp/c/g-net/>

主なコンテンツ……

公開講座・交流イベント
事業実施スケジュール、講座申し込み、過去に開催した講座レビュー

さんかく情報コーナー
県内各地の男女共同参画の地域情報、本誌「G-NETしが」のバックナンバー、ビデオなどの啓発メディア

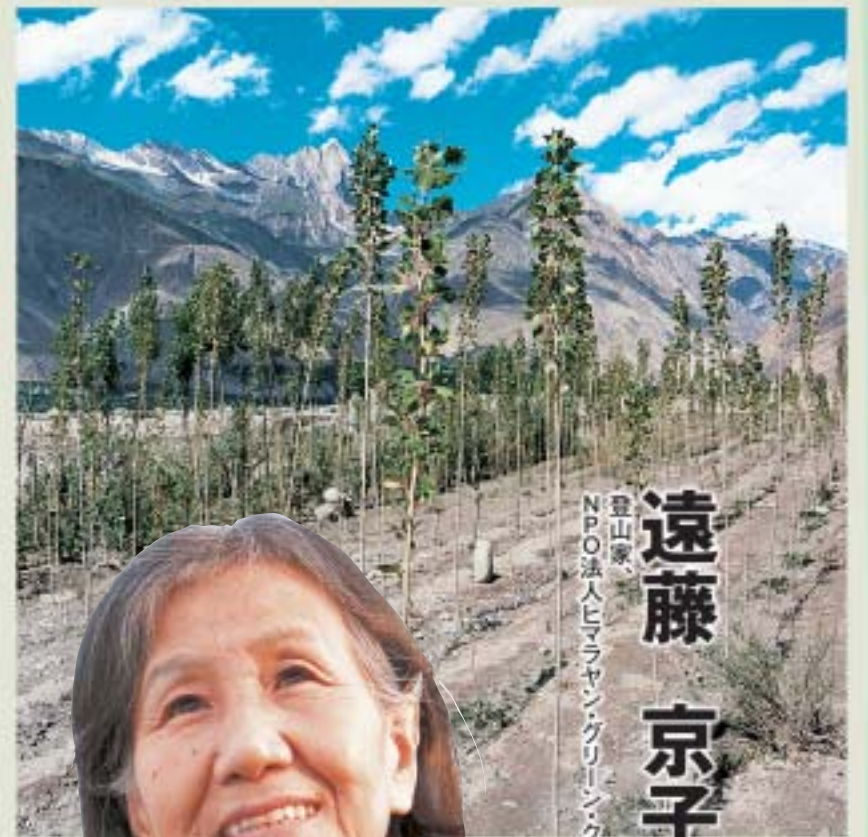
利用者の声
皆さんのご意見と所長の回答集



講座・イベント案内など最新情報をお届け!
G-NETしがメールマガジン「きてみへな」
登録はホームページから
<http://www.pref.shiga.jp/c/g-net/02sankaku/023malmag.html>

登録無料

私のチャレンジ



登山家、NPO法人ヒマラヤン・グリーン・クラブ元理事長
遠藤 京子さん

Endo Kyoko

「女性の二途な思いには計り知れないパワーがあります」

40年前に女性だけの登山グループを創設。女性で世界初の8000m峰登頂を成功させた女性登山家のパイオニア、遠藤京子さんにお話を伺いました。

ヒマラヤの土地に恩返しを

ヒマラヤの高峰に毎年登っていたこのことです。K2峰に向かうキャンプ地では、現地で雇うポーターが燃料にしようと樹木を伐採し、環境が破壊されているという話を聞きました。「自分の遊びが迷惑をかけていたなんて」とショックを受け、ヒマラヤの土地に恩返しをしようと決めました。

1992年に登山仲間と「ヒマラヤン・グリーン・クラブ」を設立し、パキスタン山村で植林活動を始めました。今も毎年1回ポプラやアズ、リンゴなど約1万本の苗木を植えています。当初は「なぜ森林が必要なのか」を説明しても、すぐには理解してもらえずに、不安になったこともありました。

感謝の言葉なんて期待しない

現地はイスラム教の信者が大半の国。何をしても“神様のおかげ”になるんです。感謝の言葉なんて期待したら続けて来られなかった。私は何ごとでも中途半端にしておくことが嫌いで、走りながら次を考えるタイプ。立ち止まったことはありません。今では小学校の設立や医療支援、女性の自立サポートにまで活動の幅は広がっています。

最近は女性がリーダーを務める組織やボランティア団体が増えてきました。女性が一途な思いで行動を始めた時のパワーには計り知れないものがあります。やってみたくらいが見つかったら、後悔のないように思いきり動いてほしいですね。

プロフィール

1938年滋賀県永源寺町(現:東近江市)生まれ。大津市在住。京都工芸繊維大学卒業、京都大学大学院修士課程修了。68年、パキスタン北西部のストル・オ・ナル西峰(7200m)に女性3人で登頂。日本人女性の7000mの道を切り開く。74年、日本女子マナスル登山隊を組織し、8000m女性初登頂の記録を作る。92年、「ヒマラヤン・グリーン・クラブ」を設立。パキスタンのカラコルム山脈の麓でボランティア活動を続けている。

始めませんが あなたのチャレンジ

「G-NET」が「では、キャリアアップ、起業、再就職、NPO設立など、さまざまな分野における女性のチャレンジを応援しています。今号では、県内で新しい生き方に踏み出し、輝いている女性たちのケースを紹介いたします。これを参考に、あなたも一歩踏み出してみませんか？」

主婦 農園運営

中村身江さん(東近江市)

全くの素人で始めた農園運営。こだわりの大粒イチゴが大人気！

結婚後、家事に専念していた中村さんは5年前イチゴ農園(グラスホッパー)の運営にチャレンジ。通常のイチゴの4〜5倍という大粒イチゴの栽培に成功し、今、全国から注文が殺到する人気です。



Q1 チャレンジのきっかけは？
母が農地を相続したので、せうかくだから趣味で何か植えてみようと考えたのが始まり。県の農業改良普及センターに相談し、県内外のあちこちの農家も見学して、素人でも取り組みやすいイチゴの促成栽培に決めました。

Q2 今感じているやりがいは？
何よりも栽培人として、イチゴ作りがおもしろいですね。1年目は何もわからず、教えられるままに無我夢中で作ったら、予想以上に収穫できてすごく売れたんです。すると2年目からは、お客さんの期待を裏切りたくない、もっと良いものを作りたいと思うようになりまして。そこで本気になってきて、イチゴの産地や農家に何度も足を運んで勉強しました。今は知識もある程度身につけてきたので、いろんな技術を工夫して試してみたり、作っていてとても楽しいです。

Q3 これからやりたいことは？
昨年からイチゴがとれない夏期にブルーベリーの栽培を始めました。これからブルーベリーを第二の柱に、年間を通じてお客さんとふれあえるようにして、本格的な農園として確立していきたいですね。

4人の子どもの育てながらの運営。夫の真ん中の、子どもへの面倒もみることができることは協力する」といふ応援も、大きな力です。



ライフストーリー

- 1990年 結婚。約10年間、3人の子どもの育児と家事に専念。
- 1999年 相続で農地を手に入。2年間、県内外の農家を見学し、栽培する作物を検討。
- 2001年 「Grass Hopper農園」を開く。滋賀県方式の少量土壌培地耕によるイチゴの促成栽培をスタート。
- 2004年 4人目の子どもを出産。全国農業青年交換大会に子ども連れて参加、活動発表。全国農村青少年教育振興会長賞を受賞。



チャレンジしたい人へ言

農業の分野は、自分たちで新しく作っていく部分が多いから、おもしろい。もっと女性が入ってきてほしい。

チャレンジするには、どうやって足を踏み出せばいい？ 16年前に再就職訓練の教室を起業し、多くの人の再就職や起業を支援してこられた黄瀬さんからのアドバイス。

すべては出会いから始まる

チャレンジを考えている人に勧めたいのは、現在の環境から一歩外へ出て、新しい場所に行き、一人でも多くの人と出会うことです。いろんな人とふれあう中で「こういう生き方もある」「こういう考え方もある」と影響を受けます。自分のしたいことが今は具体的になくても、「かっこいいなあ。すてきななあ」と感じられるキャリアモデルと出会えたら、自分の進む道が見えてきます。

各種のセミナーとか、友達から誘われたりとか、義理で出なければいけない会合とか、ちがう世界に行くチャンスがあれば、すべて行ってみる。「そんなもの行っても意味がない」と、自分の価値観だけで答えを出してしまう人が多いですが、行ってみれば思わぬ収穫を得ることがあります。目も、心も、足も、外に向けてほしいと思います。

生きる目的を考えるのが大切

私がよく相談を受けるケースで、目的と手段を取りちがえてしまって、先に進めなくなっている人がいます。会社を経営したい、NPOを設立したいというのは、あくまでも「手段」にすぎません。大切なのは「自分がどんな生き方をしたいのか」「どんな自分でありたいのか」という、生きる「目的」を考えることです。私の場合、それは「人から求められる存在になりたい」でした。

目的や夢を見つけようとする時、特に女性は、自分の可能性を自ら摘みとってしまっていることが多いのではないのでしょうか。でも、それは気づかないだけで、本当は身近なところにいっぱいあります。もっと真剣に、もっと自分を大切に、もっと自分を愛して、自分と見つめ合ったら、きっと見えてくるはずですよ。

私もこれまで、いろんな出会いがあり、悔しい思いをしたり、みじめな思いをしたり、恥をかいいたりしながら、自分の生きる道を手探りしてきました。あきらめたら、すべて終わりです。あきらめるか、あきらめないかの差は、もっとすてきな「なりたい自分」となりたいという強い信念があるかどうかです。



NPO法人 ヒューマンサポート協会 黄瀬紀美子さん

可能性はいつぱい。なりたい自分へ歩きだそう。

チャレンジしたい人へ言 風は乗るより起こすもの。何事もやってみなければわからない。やらずに後悔するよりは、やって反省してみよう。

デザイナーの本業のかたわら、ボランティアでまちづくり活動に携わる福井さん。「自己実現の場、ハレの場があると、人はいきいきする」が持論。市民が気軽に参加できる企画を次々と立ち上げています。



- ライフストーリー
1998年 大津市市制百周年記念市民提案イベント「大津絵あかり」を企画・運営。商店街の活性化にかかわり始める。
1999年 大津市主催の「女性の目で見えた町づくり調査研究」講座で1年間学ぶ。
2000年 講座で発見した視点を生かし、「町のオアシス」を開発。
2004年 地域の高齢者からまちの歴史を聞き出してビデオに残す「いまきいとき隊 ビデオプロジェクト」、京阪石坂線の駅や電車を文化活動の場として活用する「石坂線21駅のかおづくり」に取り組む。

人をいきいきさせる「ハレの場」。商店街とまちを元気にしたい。

デザイナー まちづくり仕掛け人

福井美知子さん(大津市)



「こだわりの野菜の直販事業、露地屋」はそのひとつの形。商品の集荷・配送を高齢者に委託し、販売は、就労訓練を兼ねて障害のある人が務めます。将来は野菜の宅配を行い、そこで子育て中の女性たちに活躍してもらおうと構想が広がっています。

チャレンジしたい人へ言 やるからには真剣にやらなければ、自分も仕事もつぶれてしまつ。細かいことに悩むより、突き進むべしです。

障害のある人の就労を支援する滋賀県社会就労事業振興センターの職員だった那須さん。そこで培った経験と人脈を生かし、福祉分野で今までにない事業を起したいと2年前、株式会社を立ち上げました。

起業の出発点は、かつて夫と死別し、幼い子どもを抱えて働く場がなくて苦渋した体験。障害のある人、高齢者、母子家庭の母親など、今の社会で働く機会を得にくい人たちがともに働ける場を作りたいと考えています。

起業の出発点は、かつて夫と死別し、幼い子どもを抱えて働く場がなくて苦渋した体験。障害のある人、高齢者、母子家庭の母親など、今の社会で働く機会を得にくい人たちがともに働ける場を作りたいと考えています。



障害のある人も子育て中の人も、ともに働ける場を作る。

福祉機関職員 起業

那須信子さん(草津市)



- ライフストーリー
2000年 勤めていた会社を結婚を機に退職。4カ月後に夫が事故死。その1カ月後に息子を出産。
2001年 滋賀県社会就労事業振興センターに就職。施設コーディネーターになる。
2004年 (株)農環を設立、代表取締役に。県内の作業所の古紙回収、ペットボトルキャップリサイクル事業の共同事業化に取り組む。
2005年 安全・安心こだわり野菜と手作り食材の直売店「露地屋」オープン。現在、チェーン展開中。



一問一答インタビュー

Q1 チャレンジのきっかけは？

社会就労事業振興センターで障害のある人の就労支援にかかわる中で、いい仕事があっても、非営利の社団法人では手を出せないことが多く、歯がゆく感じていたんです。そこで会社としてやってみようと思ったところに、資本金1円から起業できる最低資本規制特例制度()を知り、決意しました。

Q2 活動を続けるうえで大切なことは？

人のネットワークですね。勤めていた社会就労振興事業センターと協力しながら事業を進めていて、そのスタッフの方と話しているうちに事業のアイデアが生まれたり、人を紹介していただいたり。5歳の息子の面倒もみてもらってますし、周りの人たちが助けてくれるから、やっていけているんです。

Q3 ぶつかっている苦労や悩みは？

前例のない事業をやるうとしてるので、お手本がなく、手探りで進まなければならないのが苦労と言えは苦労です。でも、すべてが成長するための踏み台だと思えば、マイナスととらえずに楽しむようにしています。この仕事を始めてから、子どもといっしょに過ごす時間が少なくなったのは残念ですね。

一問一答インタビュー

Q1 チャレンジのきっかけは？

もともとはまちづくりという意識は全くなく、自分の表現活動として13年前、琵琶湖のヨシを使ったデザイン展を企画したことが地域とのかかわりの初めです。その後、ナカマチ商店街で、市民が描いた大津絵ほんぼり夜のまちを照らす「大津絵あかり」を企画したことから商店街とのつきあいが始まり、まちづくり活動に発展していきました。

Q2 今感じているやりがいは？

目の前のことに取り組んでいるうちに、さまざまな活動が次から次へとつながって、思いがけなく広がってきました。そのたびに新しい人脈・つながりが生まれ、新しい世界が見えてくるのがおもしろいですね。

Q3 ぶつかっている苦労や悩みは？

ボランティア活動だけに、やっぱり資金と人手の不足が悩みです。活動資金は主に助成金ですが、助成金を受けるためには、新しい事業を立ち上げなければならず、そのためには人手が必要で、そのためには資金が必要になる...という堂々めぐり。でも、それが新しいテーマや企画を考えるエネルギーになっています。

最低資本金規制特例制度 従来、会社設立の際に必要な最低資本金(株式会社は1000万円以上、有限会社は300万円以上)を、設立から5年間に限って免除する制度。2003年、中小企業挑戦支援法によって施行。

あなたのチャレンジを応援します

図書・資料室から

おすすめBOOKS チャレンジのノウハウ

男女共同参画相談室から

最初の一步が踏み出せないのは、
具体的なイメージや実務がわか
らないから？
本でシミュレーションした後は、
やる気と実行力と夢見る力で、
出発進行！

起業！

『誰も教えてくれない！
女性のための起業
10のウラワザ！ 開業編』
古川沙智子／著
Doi.coop出版部／2004年刊



『基礎から学ぶ起業マニュアル』
樋口恵子／監修
女性労働協会／2002年刊



『独立起業
完全サポートブック』
山本清次／監修
新星出版社／2004年刊



NPO!

『NPO法人の
設立と運営O&A』
三木秀夫ほか／著
清文社／2005年刊



『 longest するNPOの
設立と運営の実際』
高比良正司／著
NPO事業サポートセンター／編
明日香出版社／2002年刊



『NPOのための資金獲得術』
早瀬昇／講演
淡海ネットワークセンター／1998年刊



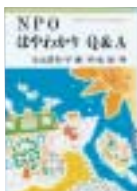
『NPO法人の
ノウハウ』
中村順子／講演
淡海ネットワークセンター／2002年刊



『電子ネットワークNPO』
松浦さと子／講演
淡海ネットワークセンター／2003年刊



『NPOはわかりO&A』
辻元清美・早瀬昇・松原明／著
岩波書店／2000年刊



約6万冊の図書・資料が
そろっています。木曜は
夜8:30まで開室、仕事帰
りに寄ってみてください。

利用時間
9:00 ~ 17:00
(木曜 ~ 20:30)

貸し出し
1人5冊まで、
3週間借りられます。
ビデオは1人2本まで(1週間)
休室日
月曜日・祝休日の翌日・
年末年始・図書整理日

県立男女共同参画センター
相談室

あなたの悩みをいっしょに考えます。

相談専用電話

ミナ ハナサク
0748-37-8739

総合相談(電話・面接)

火・水・金・土・日曜日・・・9:00~17:00

木曜日 9:00~12:00 17:00~21:00

(受付 ~ 20:30)

職場のセクハラに関する
相談窓口

滋賀労働局雇用均等室

大津市梅林1-3-10 滋賀ビル5階

電話

077-523-1190

月~金曜日・・・8:30~17:00

「セクハラ」

Q 営業に一緒に回って
いる部下の女性に好意を持
ち、交際を申し込みました。
あいまいな返事でしたが、ま
ずは食事に誘いました。何
度か断られた後、ついに食事
につきあってくれて、会話も
弾みました。彼女も私に好
意を持っていてくれると感
じ、帰り道で彼女を引き寄
せ肩を抱きました。「やめて
ください」と彼女は言いま
したが、恥ずかしいのだと思
い、もう一度引き寄せると、
セクハラだと言われました。
(営業職・32歳・男性)

相談員にきく コミュニケーションの悩み

A 上司と部下の関係
の中では、むげに断れば人
間関係が気まずくなり、今
後仕事やりにくくなる
のではないかの思いから、
はつきり「いや」と言いにく
いことがあります。それを
彼女が「好意を持っている」
「恥ずかしいがっている」とい
うのはあなたの誤解にす
ぎません。
あなたの行為は部下に
とっては苦痛であったとい
うことを反省し、誠意をも
って謝罪しましょう。そし
て自分の気持ちを整理し、
今後のことについて考えて
みましょう。

- 1 就職したい
- 2 キャリアアップしたい
- 3 起業したい
- 4 地域で活動したい
- 5 農業分野で活躍したい
- 6 子育て・介護の支援を知りたい

労働・雇用

各ハローワーク、パートバンク、パートサテライト

21世紀職業財団 滋賀事務所
TEL 077-523-5141 FAX 077-523-5249
雇用・能力開発機構 滋賀センター
TEL 077-537-1164 FAX 077-537-3076

起業

滋賀県産業支援プラザ
TEL 077-511-1410 FAX 077-511-1418
滋賀県商工会議所連合会
TEL 077-511-1460 FAX 077-523-3677
滋賀県商工会連合会
TEL 077-511-1470 FAX 077-523-3733
各商工会議所、商工会

滋賀県中小企業団体中央会
TEL 077-511-1430 FAX 077-525-5537

農林水産

滋賀県農業協同組合中央会
TEL 077-521-1618 FAX 077-528-2140
滋賀県農業技術振興センター
TEL 0748-46-3081 FAX 0748-46-3567
県庁農業経営課
TEL 077-528-3840 FAX 077-528-4882

地域等社会活動

淡海ネットワークセンター
TEL 077-524-8440 FAX 077-524-8442
県庁県民文化課 NPO活動促進室
TEL 077-528-4633 FAX 077-528-4960
滋賀県社会福祉協議会
TEL 077-567-3920 FAX 077-567-3923



チャレンジサイトしが 3月20日スタート(予定)

<http://www.pref.shiga.jp/c/challenge/>

チャレンジしたいと思う人が、いつでもどこでも誰でも、欲しい情報を効率的・総合的に入手できるよう、県内のチャレンジ支援機関の情報を集めたウェブサイトを作成中です。チャレンジのモデルとして、身近な活動事例も掲載します。